

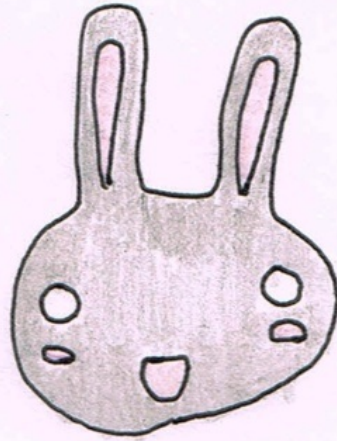
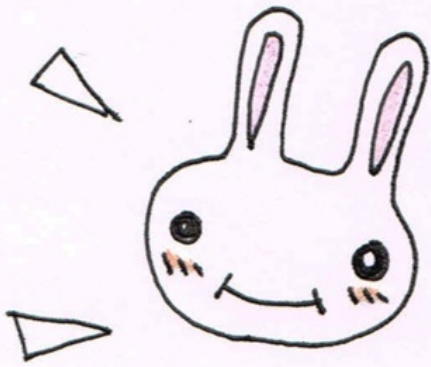
しろうさぎさんとくろうさぎさん



しろうさぎさんとくろうさぎさん

ある森に 生まれたときから

ずっと一緒に ずっと仲よしだよ



しろうさぎさんと ぐらうさぎさんが いました。

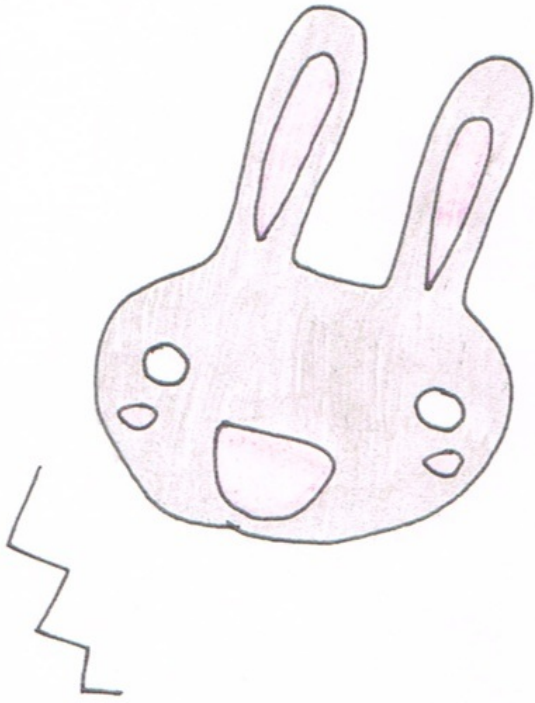
ある日 しずさんが くろさんに いきました。

「あなを

みにいこうよ！」



くろさきはしろさんに ぐたえまあ。



「いんっ」

「いっ！ いっ！」



しるしとくさくさ

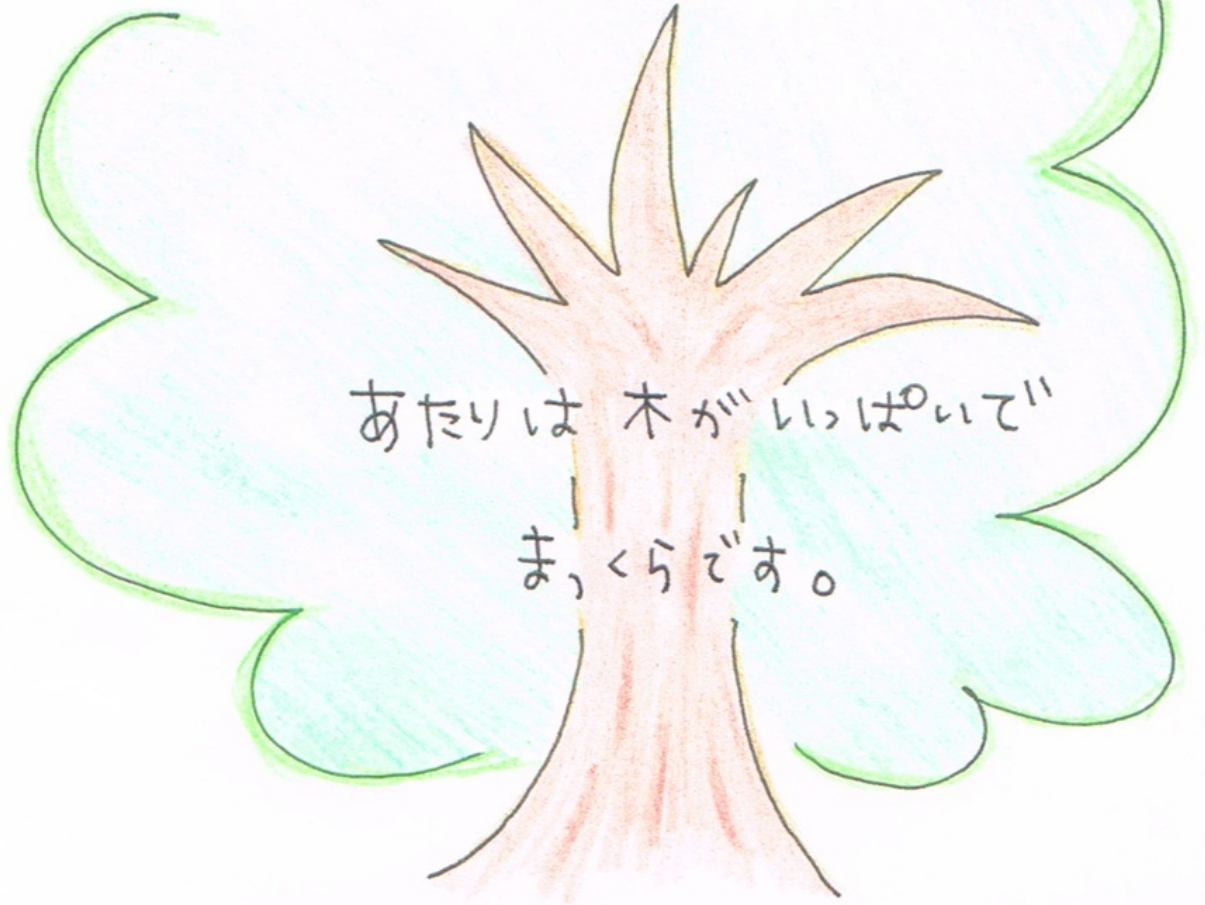


2ひきご 仲よく 森の中を ぐるまします。

どん どん. どん どん すすめます。



どんどん、どんどん、あゝります。



2ひきは それでも ちを、たいて あゝりつけます。

くろうさは まくらな 森の

知らない道かい

こわくて、こわくて

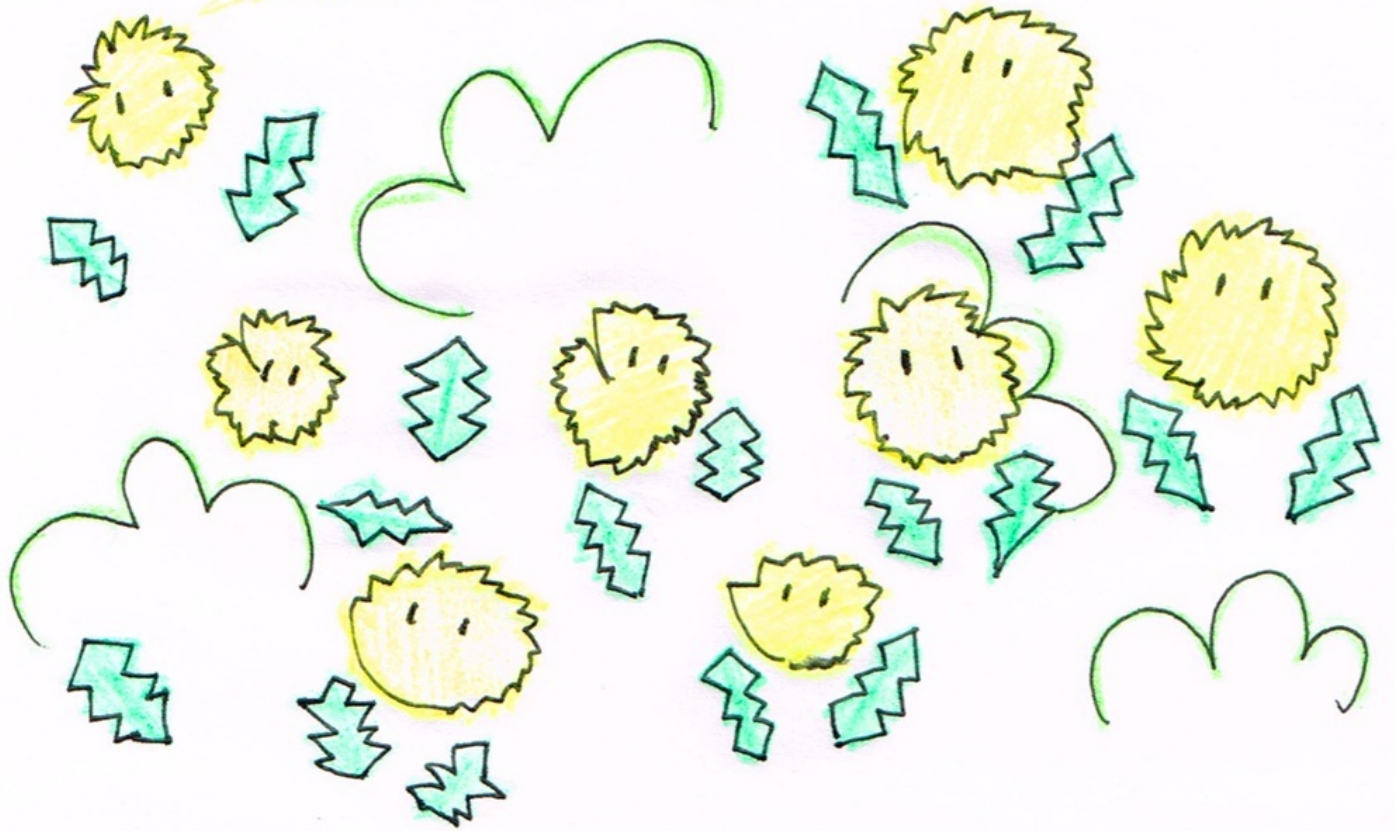
しかたありません



でも... しろうささんには 言えせん。

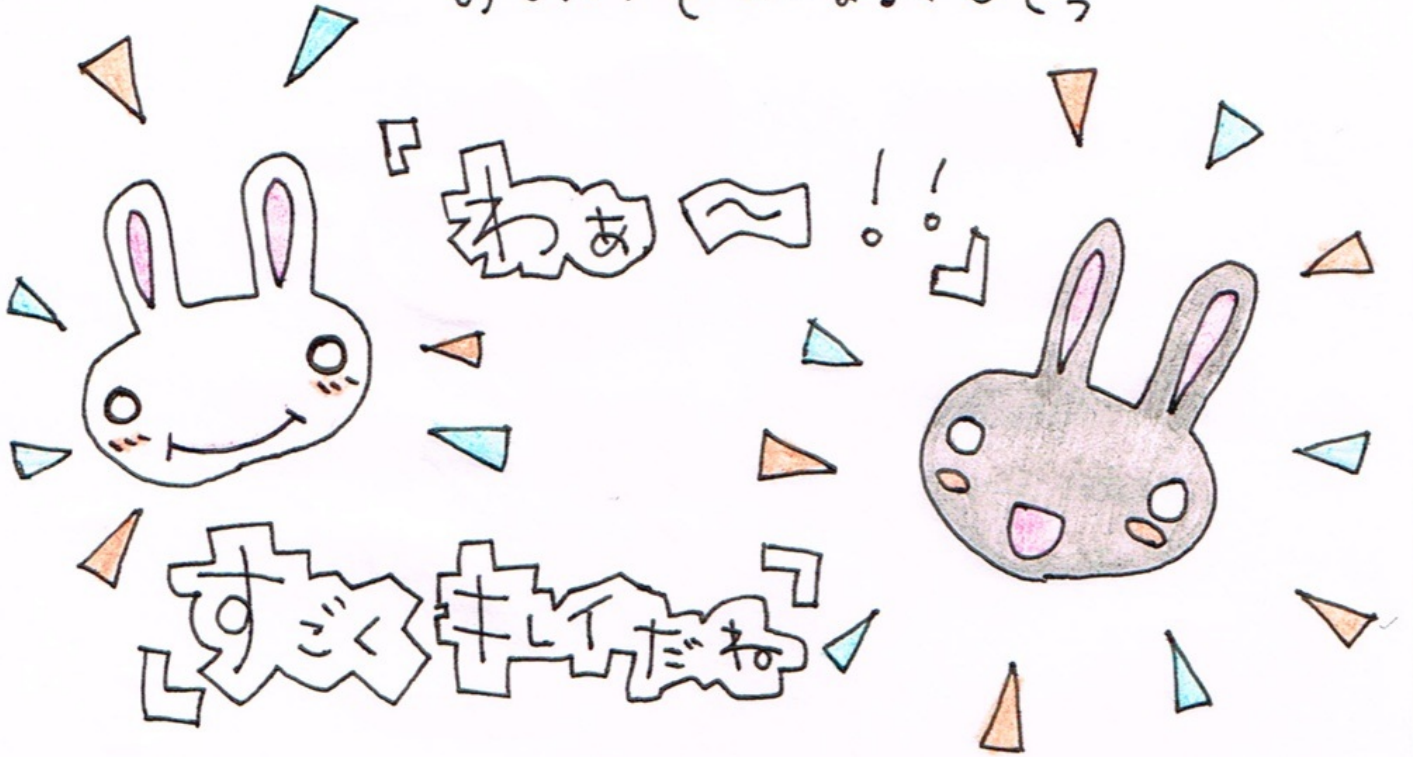
大きな木をぬけるとそこはいちめん

きいろい月・ホロホロの花火でした。



しるしさん も くろしさん も ひびくつ、

おもむき ままろくして、



しろうさぎが たんぽぽのなかを

かきまわります。

たんぽぽ



たんぽぽ

たんぽぽ



しろうさぎも たんぽぽのなかを

かきまわります。

しろうさぎが たんぽぽをひとつ

みみにかざりました。



しろうさぎは **ゴキゲン** ですよ。

くろうさんは つまわれてしま、た

たんぽぽ^ぽを あこし かわいそうだと

思...ました...



でも しろうさんには言えせん

< しろさんに ニコニコ えがきの
しろさんが いいます。

『 わたしの ほうちん
しろくて、くろきより
たんぽぽが
にあうでしょ』



< しろさんは... たんだがとても カナク なりました

くろくささんは、
しろくささんにうたえます。

「どうしてそんなことを言うんだい？」

「たんぽぽさんだってカワイソウだ」

つんでしまったから

仲間たちからはなされちゃって」

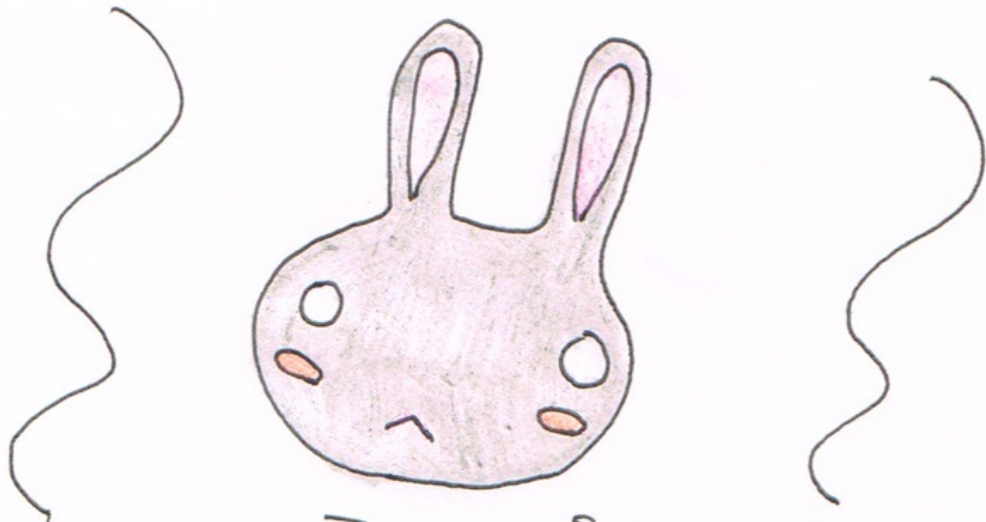


「そんな、しろくさは、ぼくはキライだよね」

しろうさは... まっかになて
おこって はねて 木の中へ

がけていってしまいました。

「わたしたって そんなこと言う しろうさはキライよ」

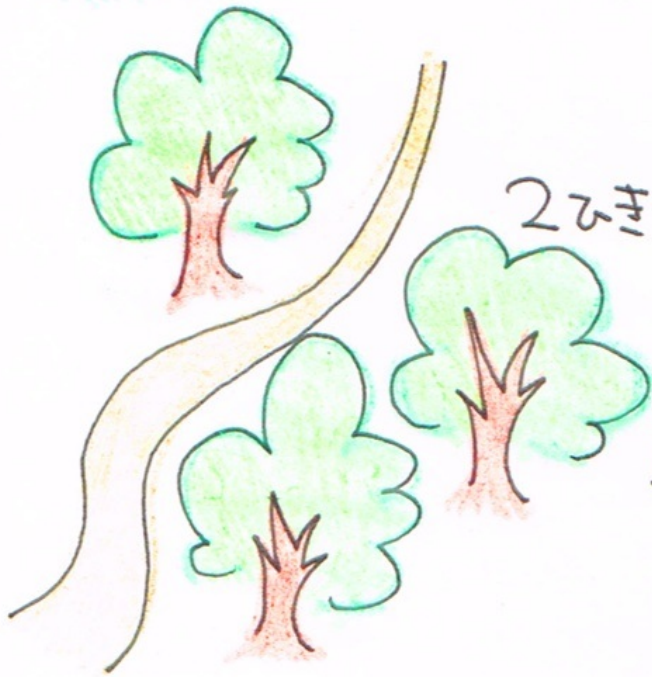


しろうささんはひとりぼっちになてしまいました

『なんだかセツタイな...』くろうさんは

しろうさんのいなくなつたところをみつめ

る。とためいきをつきました。



とほとほ、とほとほ

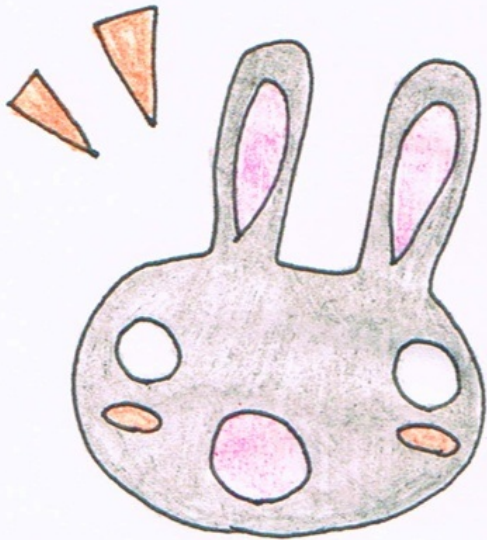
2ひきできた道を1ひきで

かえります。

知らないうちに三原がまるい瞳^{から}
ほとほと、ほとほとと
ながれていました

しろうさぎと くるうさぎが"いつも あそんでいる

お気に入りの ばしょまで 帰ってきた くるうさぎさん

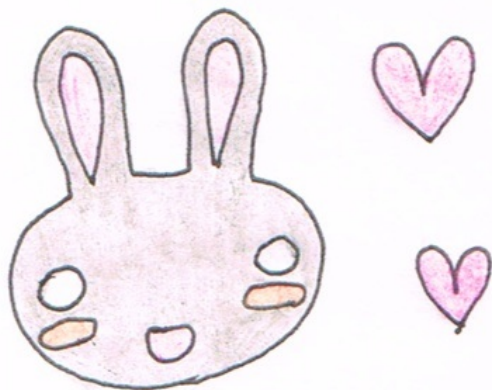
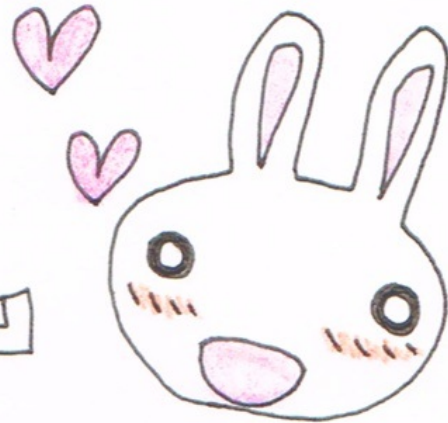


「あっ！
しろうさだっ」

おもわず 声がでます。しよんぼりや 1ひきで"しろうさぎが"
ぼり.ぼりや 立っているのを みつけました。

2ひきは おおをみあわせて、てれくさそうに
いいます。

「くろうさ ゴメンね...
ほんとうは だいすきだよ」



「しろうさ ぼくも
だいすきだよ」

やっぱり 2ひき 一緒が いちばん 素敵なのでした。

